

## アナログプレイヤーの比較試聴(3)

### ーモーツアルトを聴く(3)ー

#### 1. 始めに

前報(2)に引き続き、アナログプレイヤー3機種の比較試聴を実施していきます。

#### 2. アナログプレイヤーの比較試聴方法

アナログプレイヤー3機種の試聴経路は前報(1)と同様です。

音源は、モーツアルトのアナログ盤を使用していきますが、今回も弦楽四重奏です。

**Eurodisc(日本コロンビア) OP-7058-K**

モーツアルト 弦楽四重奏曲第18番イ長調

弦楽四重奏曲第19番ハ長調「不協和音」

ベルリン弦楽四重奏団

#### 3. アナログプレイヤーの比較試聴結果

今回はモーツアルトの後期の弦楽四重奏曲です。

ZANDEN Model120 経由の LINN LP-12 と Grrad401 では、Eurodisc 盤ということで、TELDEC、逆相、第4時定数 Mid で聴いていきます。

ThorenTD124 の再生では、ウォームトーンで太目の音がします。

LINN LP-12 の再生では、ディテールの再現がよく、バランスのとれた安定した再生です。

Grrad401 の再生では、ThorenTD124 と LINN LP-12 の中間のような印象です。

#### 4. まとめ

3機種3様の再生パフォーマンスが確認できましたが、すべてこれまでになかったレベルです。なお、前報(1)、前報(2)とともに Eurodisc 盤3枚を聴いてきましたが、ThorenTD124 と Grrad401 は曲ごとの印象が変わりますが、LINN LP-12 は比較的安定している印象です。

以上